

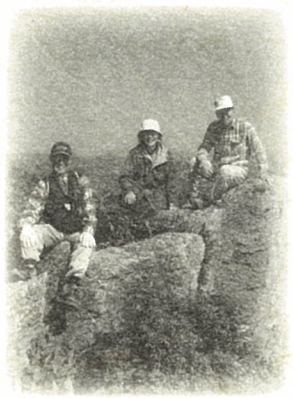


季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〜第一三二号〜

芒種 ぼうしゅ

六月五日



京路山

登山者に人気の高い山というのは、眺望の良さもその理由の一つでしょう。それなら、剣峠から登山道が続く京路山はその魅力に充分に応えてくれる山です。

南伊勢町との境にある剣峠つるぎから、案内板に沿って急な上り坂を昇ると稜線にでます。そこから少し左手に行くと、先の尖った大岩がそびえ立っています。剣峠の名前の由来ともいわれる剣岩です。

剣岩というのは
若い荒神が天から舞おりてきて
剣を岩に突き立てて
霧とともに消えさったからだ。
という。

剣峠に立つモニュメントには、作家の足立巻一さんがこの地に立ったときの感動をつづった「剣峠」の一文が刻まれています。まさしく、作家の感性を刺激したように剣を岩に突き立てたかに見えます。

左手に神宮林、右手に民有林を見ながら登山道を行きます。南斜面のふもとには磯部町の築地という集落があることから、この山は築地山とも呼ばれていました。

峠から四〇分ほど、京路山の三等三角点にある標高四一四メートルの頂にでました。右手に南伊勢の山々と五ヶ所湾、正面から左手にかけては志摩半島がぐるっと一望できます。正面に見える白い砂浜は前島半島の先端、御座白浜。岬に見えるのは灯台とうだいでしょうか。まるで地図を俯瞰ふかんしているようです。登山道には、ものみ岩といわれる眺望のいい岩が、志摩側と伊勢側にありましたが、見晴らしはここが一番でしょう。お天気の良い日にまた登りたい山です。

文 千種清美

